

九州クラブ選手権で2度目の優勝を果たし、選手たちに胴上げされるビッグ開発クの下地監督＝百留康隆撮影



ビッグ開発ク連覇

社会人野球

九州クラブ選手権

社会人野球の第39回全日本クラブ選手権大会九州地区予選を兼ねた九州クラブ選手権大会(日本野球連盟九州地区連盟、毎日新聞社主催)は5日、鹿児島県日置市の伊集院総合運動公園野球場などで準決勝と決勝があり、沖縄県勢の対決となった決勝ではビッグ開発クが10-0でくるりニックに六回コールド勝ちし、2年連続2回目の優勝を果たした。ビッグ開発クは9月5日から西武ドームで開かれる全日本選手権に出場する。くるりニックと3位の八代レ

ッドスターク(熊本)、BANク(大分)の3チームは9月13、14の両日、北九州市である

▽決勝

ビッグ開発ク

7200001010
0000001010
くるりニック

(六回コールド)

(エ)知念、油間、羽地、仲村(セ)安里、櫻並、中村、上原光貴、宮城、三塁打、当真(ヒ)三塁打、仲村(ヒ)

(エ)221092871091
(セ)打安白振球盗失残併

(エ)18104600260

▽準決勝

八代レッドスターク(熊本)

001000120004

くるりニック(沖縄)

300000002X5

(八)江上、松、開田(セ)安里、櫻並、上原光貴、中村

一宮城、三塁打、大嶋、友寄翔(セ)三塁打、園田、栗澤(八)新里(セ)

BANK(大分)

0000000010

ビッグ開発ク(沖縄)

1400100017

(八回コールド)

(B)中村、丸山(ヒ)山城

和上盛、仲村、三塁打、当真(ヒ)三塁打、黒石(ヒ)

島袋、比嘉哲、神倉盛(ヒ)

2試合連続コールド

○：ビッグ開発クが準決勝からの2試合をコールド勝ちと圧倒的な強さを見せ、2年連続の全日本選手権出場を決めた。沖縄同士となったくるりニックとの決勝では、一回に失策と犠飛で2点を取った後、8番・比嘉哲からの4連続適時打で、この回一挙7点の猛攻。初めての地元開催だった都市対抗九州地区予選では、チームの底上げを感じていたが、企業チーム相手に終盤に点を奪われる力負け。下地監督は「もっと力をつけなければと選手がシムに通

西日本クラブカップ大会に出場する。大会の最高殊勲選手賞は4試合中3試合に登板した羽地(はねじ)

淳平投手(ビッグ開発ク)、敢闘賞と首位打者賞は友寄(ともよせ)翔外野手(くるりニック)が選ばれた。

「表れた」と手応えを話す。初出場だった昨年の全日本選手権では霧封されただけに「この1年間、悔しさを忘れなかった。リベンジできる立場に立てた」と雪辱を誓った。